科目分類	看護専門科目　領域別看護			開講時期	4 年	前期
科目名	成人慢性看護学実習Ⅱ					
選択/必修	必修	単位数（時間数）	1 単位	45 時間	授業形態	実習
担当教員	内布　敦子・野沢　和也・小山　珠美					
メールアドレス	k-nozawa@tsuruga-nu.ac.jp(野沢) t-koyama@tsuruga-nu.ac.jp(小山)			オフィスアワー	随時可能であるが、事前に都合を確認して下さい	

授業目的	慢性的な健康障害により、生涯にわたり疾病や生活のコントロールが必要な対象に対する包括的医療、看護の役割を理解し、多職種協働の在り方を学ぶ 。
授業概要	治療外来の実習を通して、慢性疾患で療養を続ける患者がこれまでに構築してきた患者なりの療養方法、療養に関する認識を知り、現在の病行きへの対応がどのように生成されてきたかを理解する。また、セルフマネジメントの視点で患者の課題を見出し、看護の役割や療養を支える多職種協働について考える。 さらに、療養を継続するために医療・福祉等の資源がどのように調整され提供されるか、患者・家族の意思を尊重しながら行う入退院支援の仕組みと支援方法の実際を理解する。
授業計画	実習期間：1 週間 実習方法： 1）入退院支援部門の医療スタッフに同行して、退院支援や退院調整の実際を学ぶ。 2）慢性疾患の治療外来において、治療・診療と設備の見学、シャドウイングを通して、外来治療の流れ、看護の実際と留意点について学ぶ。 3）慢性的な健康障害のため、外来での治療を目的に通院してこられる方とのコミュニケーションを通して、セルフマネジメントの視点から、患者の課題や療養支援について考察する。 4）慢性的な健康障害をもつ患者の療養生活を支えるための多職種協働における看護師の役割について考察する。 5）グループワークおよびプレゼンテーションにて実習での学びを共有する。
教材 参考文献等	なし
成績評価 基準・方法	実習目標の達成度 100%（実習への取り組み姿勢を考慮する）

履修要件	成人慢性看護学実習Ｉを修得していること。
留意事項 その他	
実務経験のある 教員の教育方法	看護師としての臨床経験を活かして、慢性的な健康障害を持ちながら外来通院している患者に必要な看護実践の実習指導を行う。